

会 議 録

平成 24 年 11 月 12 日調製

審議会等名	平成24年度 第1回三条市文化振興に関する懇談会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成24年9月24日（月） 午後2時～午後4時		
開催場所	中央公民館 講義室	傍聴者	無
		報道機関	無
出席者氏名	委員 阿部涼子委員、中村勝委員、花柳雅鶴委員、田村和豊委員、椛澤伸治委員、櫻井綾委員、大原貞雄委員、樋山利浩委員、鶴巻純子委員 三条市 宗村市民部長、金子生涯学習課長、石崎生涯学習課長補佐、長谷川文化振興係長 （欠席者）浅野真理子委員		
協議題	(1) 平成 24 年度文化芸術事業の実施状況（9 月現在） (2) 平成 25 年度新規取組文化芸術事業計画（案）について (3) 三条市文化振興基金について (4) その他		
市民部長	あいさつ		
阿部会長	議題（1）について説明をお願いする。		
金子課長	（平成 2 4 年度文化事業の実施状況について説明）		
田村委員	楽音祭参加者 3 6 0 0 人は出演者、出店者なども含んだ数字か。		
金子課長	参加者合計と考えていただきたい。		
田村委員	三条の方の参加数はわかるか、三条への貢献度をききたかった。		
金子課長	不明である。		
阿部会長	楽音祭について予算等を教えていただきたい。		
金子課長	主催は三条楽音祭実行委員会、市は共催である。当日の手伝いは7名で担当はシャトルバスの運行である。それ以外は実行委員会で行った。負担金として260万円を出している。その他協賛金を実行委員会で40万円位募っている。		
鶴巻委員	今回報告の事業は、主催のものばかりではないのか。		
金子課長	主催、共催のものを挙げている。		
雅鶴委員	3 6 0 0 人の参加ということであるが、雰囲気はどうか		
金子課長	2 0 - 3 0 代が中心で、市内の方だけではなく市外からの参加の方も多いと思う。シャトルバスの運行で交通の渋滞を回避した。		
阿部会長	今後の方向性としては、いつまで市が負担していくのか。		
宗村部長	今のところ断言はできないが、見直しを行っていくことになると思う。		

阿部会長	しあわせのたねコンサートについて、引率方法はどうか。
金子課長	リハーサル見学については各保育所の先生がとりまとめて、引率もしてもらおう。ジュニア合唱団については市職員が引率する。バスの費用は市で負担する。
田村委員	新潟市の参加はどうか。
金子課長	把握していないが、新潟ジュニア合唱団は出演すると聞いている。
田村委員	ぜひ、部長、課長にも参加してもらって、市外の状況を見てもらいたいと思う。昨日柏崎のアルフォーレに行ってきた。その時文化会館がないのは三条市だけかなという話になった。20市の中で、文化会館がないのは五泉市、阿賀野市もないが、人口から考えて三条市にないのはどうしてというところである
中村副会長	関連であるが、以前の三条市長にうかがったが、加茂にも見附にもあるのでそれらを利用することが可能という話もされた。多少の補助を考えていただければいいかとも思う。
阿部会長	平成24年度の実施事業についてほかに質問がないようなので、(2)平成25年度新規取組文化芸術事業計画(案)について説明をお願いする。
金子課長	(説明) 新規の取組みについて上げているので、ご意見をいただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・三条市出身の若手芸術家(50才以下)の作品展 ・名誉市民周年記念作品展 ・わくわく文化未来塾の新しい分野について
阿部会長	全部に文化振興基金から支出するのか。
金子課長	若手の作品展とわくわく文化未来塾とについては、基金活用を考えている。
阿部会長	では、基金活用の若手の作品展についてみなさんのご意見をお願いしたい。
鶴巻委員	以前からこういう企画があればいいと思っていたが、大変いいことである。毎年実施するのか。
金子課長	毎年実施したいと考えている。複数展か個人展がいいかお聞きしたいが、対象の方がおいでになるうちは続けていくことはできると考えている。
鶴巻委員	個展でも、数人のグループ展でもどちらかに決めなくてもいいと思う。
阿部会長	課長は50歳以下と説明されたが、皆さんは若手というのは何才位と考えるか。
鶴巻委員	50歳以下でいいと思う。
中村副会長	文化芸術ということで、音楽の方も支援をされてほしいと思う。また、三条市出身ということであるが県内在住でもいいのか。
田村委員	三条の高校出身で活躍している方も多い。
阿部会長	三条市外の出身で三条在住、三条の高校出身者など含めてもいいか。
鶴巻委員	含めてもいいと思う。
雅鶴委員	広く人材を求められるのでいいと思う。
櫻井委員	音楽に関して言えば、間口が広くなり、多数おいでになる。
阿部会長	美術と音楽の2本立てで毎年やってはどうか。

金子課長	音楽の場合企画は可能であるが、集客を考えたとき、中公であると500人の会場であるので、適当な人材のセレクトは難しいかと思う。
田村委員	今回の音楽公演の館野泉さんは中央公民館の規模で承知されたのか。
金子課長	直接ご本人との交渉ではなく、所属プロダクションへ条件を伝えお願いした。
阿部会長	集客や会場を考えると、三条市出身の方がひとりでの作品展より、同レベル位の作家複数展の方が、見にくる方は楽しいのではないかと思う。音楽の場合でも複数の方に出演してもらった方がいいと思う。
鶴巻会員	個展がいいのではないかと思う。作品の大きさにもよるが大きな作品も展示するとそう何点も展示できないこともあり、今後続けていくことを考えると個展もやり、また数人での展示会もやるということで、若手の育成を支援することにつながっていけばいいと思う。
中村副会長	会場であるが、東公民館は天井が斜めになっているなどあまりよい会場ではないが、作家の力があればつくりあげていけるので展示作家を選んでいけばいいと思う。
阿部会長	芸術に対しての考え方がちがうことがわかるようないろいろな意見をいただいた。一流と言われなくても中高校生が観に来て目標になるような作家の作品展、公民館らしい県展レベルの作家の展示を考えていた。自選多選でもいいので多くの方に参加してもらいたい。
鶴巻委員	中高生の対象とする裾野を広げるようなものはこれまでも三条市で行っていると思う。そう言う内容であったらやらなくてもいいと思うし、三条にしながら世界とつながるような本物の芸術を見てもらおう企画にしてほしい。
中村副会長	若手芸術家の支援というのはどの程度までなのか。
金子課長	展示会を市が開催するということである。制作費までは考えていない。
中村副会長	市の説明による市内外に発信するという言い方からすると鶴巻委員がいうような大げさなものでなくてもいいと思う。
鶴巻委員	理想掲げてやってほしい、ということである。芸術家は個人で活動しているわけだが、その一翼を市が担おうということであると思うので、レベルのボーダーラインを考慮して人選してほしい。
阿部会長	どのあたりをボーダーラインとするかが大変だと思う。あまりにも限定されたものだとなかなか続かないのではないかと思う。
雅鶴委員	鶴巻委員の意見に賛成である。スタートは高い理想をかかげるべきである。
田村委員	美術館レベルなのか、市民レベルなのか、学芸員がいて企画できるのか、そうでないのかということが問題である。箱があり、予算・企画があり、きちんと運営していなければ市展レベルのものとしか考えられないのではないかと思う
阿部委員	開催に関してご意見をいただいたが、美術だけではなく、音楽も東公民館で若手のものの開催が考えられる。
鶴巻委員	いつごろと考えているか。
金子課長	来年の11月か1月と考えている。
櫻井委員	人選はどうするのか。

金子課長	全国的な伝統ある公募展に入選された方から選抜するというを考えている。
櫻井委員	該当者がいないということもあると思うので、臨機応変に複数者での開催を考えられてもいいと思う。音楽は50才は若手ではないし、日本のコンクールは35才で区切られる。目指す者にとってはこのように発表の場が確保されることはたいへんよいこと、うらやましいことである。予算はどれくらいか。
金子課長	予算組みはこれからだが、他市に例では50万円位であった。
田村委員	三条市外の方も入れるということにすれば、コメリがやっている賞での外国からの帰国展を毎年できるのではないかと思う。
阿部会長	毎年やっていくと、人材が見つかるのではないかという声もあるが、そういうときは相談しながらやっていってはどうかと思う。26年度からは音楽も入れていってほしいとの意見を取り入れてほしい。
樋山委員	基金の活用ということはレベルと同時に集客も見込めないといけないのかなと思った。中高生があこがれるような企画が望ましい。
田村委員	出場激励金を見るとこれだけなのかという気がする。もう少し、市の力で押し上げるという意気込みが感じられないのがいつもさみしく思う
阿部委員	一般の方でも申請が可能だが、知っている人が少ないのかもしれない。
田村委員	県も学校現場の合唱に対する熱意が感じられないように思う。学校現場の実態がききたい。
中村副会長	私が高校にいた頃は各学校専任がいたが、今はそうではなく授業数も少ないと思う。
鶴巻委員	もし毎年個展ということになると、ある程度は早めに依頼がないと困るのではないかと思う。
阿部会長	依頼の時期としてはいつ頃となるか。
金子課長	来年の2月になれば、予算の内示があるので依頼できる。
阿部会長	では、次に（3）三条市文化振興基金について、説明をお願いします。
金子課長	（「基金周知のチラシ」について説明）
阿部会長	どう活用していくか。
金子課長	市の事業で配布したいと考えている。
阿部会長	任意の団体で募金箱を設置して募るのはいいか。
金子課長	市への寄付は、寄付者が特定できないとむずかしい。どういう形でできるかは宿題とさせてもらいたい。
中村副会長	楽音祭を減額し、こちらの基金に入れられないか。
金子課長	市の方から働きかけて実施しているものなのでなんともここでは答えられないが、各面から検討したい。
田村委員	4月からの施設の使用料が変更になるので、その収益部分をこの基金に繰り入れられないか。
金子課長	そういう意見があったということ伝えて相談する。
鶴巻委員	企業の文化事業については税金が免除されるというようなこともあるのではないか

	と思う。
金子課長	企業の文化活動など、そういったことも調べるので、宿題とさせていただきます。
阿部会長	椛澤委員はどうか。
椛澤委員	企画をしていくには、やはり学芸員がいてやってもらうといいのではいかと思う。市民ギャラリーも狭くて限られてしまう。
阿部会長	文化振興係にぜひ学芸員を配置してもらいたい。
大原委員	三条では、小さいうちに本物の芸術文化にふれる機会が少ないように思う。小さいうちの体験は将来につながっていくように思う。「わくわく文化未来塾」についても少人数でもいいので、多くの講座をもってもらいたい。
雅鶴委員	芸術鑑賞ツアーの内容はどのように決めているか。
金子課長	毎年2月位にその年の参加者の一部の方の集まってお聞きし決定している。また、学校関係については文化庁からの派遣事業があるので、ぜひ申し込んでもらいたい。学校の文化活動については、次回検討としたいのでお願いします。
中村副会長	閉会のあいさつ